

仙台市障害者保健福祉計画（令和6～11年度） 評価シート（案）

令和●年度評価

令和●年●月
仙台市

目次

評価について	3
成果指標（アウトカム指標）の評価	
基本方針1 障害のある方への理解が深まってきたと回答した割合	4
基本方針2 障害児の家族の「障害のある方の福祉サービス」への満足度	4
基本方針3 障害児のある方・家族の「障害のある方の福祉サービス」への満足度	4
基本方針4 障害のある方・家族の希望に応じた社会参加や就労に向けた取り組みへの評価度	5
基本方針5 障害のある方にとって暮らしやすいまちづくりに向けた取り組みへの評価度	5
成果指標（アウトカム指標）に対する全体評価	6
成果指標（アウトプット指標）の評価	
基本方針1	
障害理解サポーター事業における障害理解サポーター養成研修実施回数	8
パラスポーツにかかるイベント等の開催回数	
Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SENDAIの入場者数	
基本方針2	
児童発達支援センターによる相談支援回数	
児童発達支援センターによる施設訪問支援回数	
保育所等訪問支援事業所による支援回数	
アーチルによる施設支援を目的として訪問した学校数（通常学級・支援学級）	
主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所数	
基本方針3	
地域生活支援拠点における基幹相談支援センター等とのケース検討回数	
基幹相談支援センターにおける地域の相談機関との連携強化の取組件数	
共同生活援助（グループホーム）の利用者数／月	
短期入所事業所（医療型）の利用者数／月	
視覚障害者支援センターにおけるICT機器等利用に関する相談者数	
基本方針4	
障害者雇用促進セミナーの開催回数	
就労移行支援事業所等連絡会議の開催回数	
ふれあい製品フェアや市内の商業施設等での販売会開催回数	
障害のある方の鑑賞、創造、発表の機会の拡大に資する取組回数	
パラスポーツ教室開催回数	
基本方針5	
（仮称）青葉障害者福祉センターの整備の進捗状況	
生活介護事業所の定員数	
災害時個別計画の新規作成件数	
事業所を対象とした人材確保・定着を支援するセミナーや交流会の実施回数	
障害福祉事務センターの運営	

評価について

1 趣旨

仙台市障害者保健福祉計画（令和6～11年度）に基づく施策を効果的に推進するため、定期的の実績を把握し、その達成状況を検証した上で、評価を行う。

評価結果については、毎年度、仙台市障害者施策推進協議会（以下、協議会）に報告し公表する。当協議会においては、本書の報告を踏まえて本計画に係る監視・調査・分析・評価を行い、この結果に基づいて、本市が所要の対策を検討・実施する。

2 評価対象

本計画「第3章 計画の方向性」「成果指標」の達成状況等を評価する。評価にあたっては、成果指標に掲げた取り組みのほか、それに関連する「第6章 計画関連事業一覧」に掲載の事業や、本計画策定後に新たに実施する事業等を対象とする。

3 評価手順

毎年度、基本方針に係る事業の実施結果を目標値とする「成果指標（アウトプット指標）」の達成状況等について、関連事業の実績等を踏まえて評価を行う。

また、令和11年度には、基本方針に係る施策の成果を目標値とする「成果指標（アウトカム指標）」の達成状況等について、障害者等保健福祉基礎調査結果及び成果指標（アウトプット）の実績により評価を行う。

協議会では、上記の評価をもとに、監視・調査・分析・評価を行う。

4 中間評価について

本計画の中間評価を令和8年度に実施する。中間評価の結果を踏まえ、各成果指標で設定した令和11年度目標値の達成に向けた令和9年度及び10年度の目標値について、改めて検証を行う。

成果指標（アウトカム指標）

基本方針	1 共生社会の実現に向けた障害理解の促進と権利擁護の推進
指標	障害のある方への理解が深まってきたと回答した割合
概要	令和10年度に実施予定の障害者等保健福祉基礎調査にて、調査対象者「市民」に対して指標の設問を設けることで、市民への障害理解の浸透度を測る。
基準値	令和4年度障害者等保健福祉基礎調査結果、調査対象者「市民」 障害のある方への理解が深まってきたと回答した割合 52.1%
備考	実績値は、令和10年度障害者等保健福祉基礎調査において、調査対象者「市民」が、設問「障害のある方への理解が深まっていると思いますか」に対して、「深まってきた」、「少し深まってきた」と回答した割合

【管理No】

1

基本方針	2 障害のある児童や発達に不安のある児童に対する支援の充実
指標	障害児の家族の「障害のある方の福祉サービス」への満足度
概要	令和10年度障害者等保健福祉基礎調査にて、調査対象者「障害児の家族」に対して指標の設問を設けることで、障害のある児童に対する福祉サービスの充実度を測る。
基準値	令和4年度障害者等保健福祉基礎調査結果、調査対象者「障害児の家族」 障害のある方の福祉サービスへの満足度 評価度 2.31
備考	実績値は、令和10年度障害者等保健福祉基礎調査において、調査対象者「障害児の家族」が、設問「あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか」に対する回答「とても満足している」「満足している」「やや不満である」「とても不満である」の4段階評価の平均点を施策評価度とするもの。

【管理No】

2

基本方針	3 地域での安定した生活を支援する体制の充実
指標	障害のある方・家族の「障害のある方の福祉サービス」への満足度
概要	令和10年度障害者等保健福祉基礎調査にて、障害のある方とその家族に対して指標の設問を設けることで、障害のある方に対する福祉サービスの充実度を測る。
基準値	令和4年度障害者等保健福祉基礎調査結果、調査対象者「各障害種別の当事者」「各障害種別の家族」 障害のある方の福祉サービスへの満足度 評価度 2.48
備考	実績値は、令和10年度障害者等保健福祉基礎調査において、調査対象者「各障害種別の当事者」「各障害種別の家族」が、設問「あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか」に対する回答「とても満足している」「満足している」「やや不満である」「とても不満である」の4段階評価の平均点を施策評価度とするもの。

【管理No】

3

基本方針	4 自分らしさを発揮できる社会参加と就労の充実
指標	障害のある方・家族の希望の応じた社会参加や就労に向けた取り組みへの評価度
概要	令和10年度障害者等保健福祉基礎調査にて、障害のある方とその家族に対して指標の設問を設けることで、障害のある方の社会参加や就労等への参加に対する充実度を測る。
基準値	令和5年度仙台市市民意識調査結果 「年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらない、一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加などの機会づくり」施策評価度 2.55
備考	実績値は、令和10年度障害者等保健福祉基礎調査において、調査対象者「各障害種別の当事者」「各障害種別の家族」が、設問「社会参加や就労の状況に満足していますか（案）」に対する回答「とても満足している」「満足している」「やや不満である」「とても不満である」の4段階評価の平均点を施策評価度とするもの。

【管理No】

4

基本方針	5 安心して暮らせる生活環境の整備
指標	障害のある方にとって暮らしやすいまちづくりに向けた取り組みへの評価度
概要	令和10年度障害者等保健福祉基礎調査にて、障害のある方とその家族に対して指標の設問を設けることで、障害のある方にとって暮らしやすいまちづくりの進捗に対する充実度を測る。
基準値	令和5年度仙台市市民意識調査結果 「一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである」施策評価度 2.66
備考	実績値は、令和10年度障害者等保健福祉基礎調査において、調査対象者「各障害種別の当事者」「各障害種別の家族」が、設問「障害のある方が安心して暮らすことができるまちだと思いますか（案）」に対する回答「とてもそう思う」「そう思う」「そう思わない」「思わない」の4段階評価の平均点を施策評価度とするもの。

【管理No】

5

成果指標（アウトカム指標）に対する全体評価

基本方針	指標	基準値	目標値	実績値
1 共生社会の実現に向けた障害理解の促進と権利擁護の推進	障害のある方への理解が深まってきたと回答した割合	52.1%	基準値比増	
2 障害のある児童や発達に不安のある児童に対する支援の充実	障害児の家族の「障害のある方の福祉サービス」への満足度	2.31	基準値比増	
3 地域での安定した生活を支援する体制の充実	障害のある方・家族の「障害のある方の福祉サービス」への満足度	2.48	基準値比増	
4 自分らしさを発揮できる社会参加と就労の充実	障害のある方・家族の希望の応じた社会参加や就労に向けた取り組みへの評価度	2.55	基準値比増	
5 安心して暮らせる生活環境の整備	障害のある方にとって暮らしやすいまちづくりに向けた取り組みへの評価度	2.66	基準値比増	

基本方針1 全体の評価	※上記実績値等に基づき、令和11年度に評価・分析する
基本方針1 全体の課題	※同上

基本方針2 全体の評価	※上記実績値等に基づき、令和11年度に評価・分析する
基本方針2 全体の課題	※同上

基本方針3 全体の評価	※上記実績値等に基づき、令和11年度に評価・分析する
基本方針3 全体の課題	※同上

基本方針4 全体の評価	※上記実績値等に基づき、令和11年度に評価・分析する
基本方針4 全体の課題	※同上

基本方針5 全体の評価	※上記実績値等に基づき、令和11年度に評価・分析する
基本方針5 全体の課題	※同上

【管理No】 全体評価

成果指標（アウトプット指標）の評価

基本方針	1 共生社会の実現に向けた障害理解の促進と権利擁護の推進						
重点取組	地域における理解者の増加を目的とした普及啓発事業の強化						
担当課	健康福祉局障害企画課						
指標	障害理解サポーター事業における障害理解サポーター養成研修実施回数						
概要	障害当事者を講師として、企業、学校、団体に派遣し、講義・講話・体験等で構成する研修を実施することで、市民や事業者の障害理解促進を図るもの。						
基準値	令和4年度実施回数 32回						
年次	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
目標値		43回	46回	50回	—	—	50回
実績値	●回	●回					
実績の詳細及び関連事業の実績	<p>【実績詳細】 障害理解サポーター養成研修の実施回数内訳 企業●社、小学校●校、中学校●校、高校・大学・専門学校●校、地域団体等●校</p> <p>【関連実績】 障害理解ポータルサイト 令和6年度実績：●● 行政や関係団体が開催するイベント情報の案内、障害理解の参考リンクの掲載等により構成するポータルサイトを構築し、Web広告・SNS広告の活用によりサイトへの誘導を図り、障害理解の促進を図るもの。</p> <p>【質的モニタリング】 障害理解サポーター養成研修を受講した企業（小売り・サービス） ・（ヒアリングによって聞き取った意見を記載）</p>						
評価	~~~~~ ~~~~~						
課題	~~~~~ ~~~~~						
今後の方向性	~~~~~ ~~~~~						
備考	~~~~~ ~~~~~						

【管理No】

1-1